



兵庫支部NEWS H23年 6月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

平成23年度(第25回)北九州市立大学同窓会兵庫支部総会・懇親会 7月2日(土)午後4時半 於本館牡丹園、神戸元町

総会: 16:30~17:10

支部活動報告、収支決算報告、規約改正等

講演会: 17:20~18:20



講師: 井上宏氏 演題: 笑いと健康
関西大学名誉教授、日本笑い学会初代会長、大阪市出身
「笑いの力~笑って生き生き」「大阪の笑い」「大阪の文化と笑い」等著書多数。

懇親会: 18:20~20:00

会費: 6,000円(男女同額)

平成22年、23年卒業生会員は無料

参加申込: 平成23年6月24日(金)

申込先: 山田敏昭 Tel&Fax 0797-81-0842

gokusho27@jttk.zaq.ne.jp



JR元町駅東口海側へ下車、南へ(大丸方面)徒歩1分
その他の最寄り駅: 阪神元町駅、地下鉄湾岸線旧居留地・大丸前
本館牡丹園: 神戸市中央区元町通1丁目11-10
Tel. 078-332-4588 Fax 078-392-3020

平成23年度第1回評議会に出席して

兵庫支部NEWS ご愛読の皆様へ

兵庫支部長兼評議員 安徳信義

平成23年5月21日(日)午後3時から、ホテルニュータガワ(小倉北区)において、平成23年度第1回評議会が開催され、前年の秋に続いて出席いたしました。

会の初めに校歌斉唱があり、新しく「ひびきのキャンパス」を取り込んだ歌詞が紹介されました。

田村同窓会会長は「東日本大震災で人々の絆の大切さを再認識させられ、それが『社会の保水力』となった。



(挨拶する田村同窓会会長)

北九州市立大学同窓会も発足して還暦を過ぎたが、今の60歳は元気澁刺としていて、同窓会もこれを起点としてさらなる発展が期待できる。」と挨拶されました。



(第1回評議会開催風景)

議長団選出の後、前年度事業報告、本年度事業計画および予算についての報告があり了承され、続いて同窓会例規集の一部修正、本部事務局の情報処理機能の改善、東日本大震災の義援金取り組みについて、大学公開講座のHPへのアップなどの事項が報告されました。

この中で本部からの義援金協力の依頼に対して、支部の浄財や関西支部との合同ゴルフコンペでのチャリティー募金から等、いち早く日本赤十字社に振り込んだ兵庫支部をはじめ、各支部の対応が会長より評価された事は、16年前の阪神淡路大震災の際に兵庫支部

が本部及び他支部から受けた義援金に対して、ある意味恩返しできたのではないかと思います。

引き続きブロックに分かれ意見交換会が行われ支部活動に関して各支部の評議員から1人ずつ支部の現状と問題点が述べられ、共通する課題について活発な議論がなされ(評議会出席の安徳評議員、前列右)ました。この中には新卒者に「卒業おめでとう」の祝辞とともに支部の新聞を配布する、「女性の会」の案内状の文章を年代別にしかも女性を意識した言い回しで書いている、facebookやツイッターなどソーシャルネットワークを取り入れた案内をする等など、同窓会の発展の為の工夫が様々提案され参考になりました。



兵庫支部は他の支部から非常に活発な同窓会活動がなされているという評価がある反面、内実は他支部と同様に若手および女性会員の参加が少なく将来に危機感を持って取り組む必要があると思っています。ひとえに皆さんお一人お一人が兵庫支部活動へ積極的に参加されますことをお願いいたします。

Badhai! The 25th general meeting of
The university of Kitakyushu Hyogo branch



Alumnus are most welcome to



Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

兵庫支部総会出席予定者 (H23.06.13現在)

出足低調、誘いあって出席を!!

6月13日現在の出席予定者が判明した。昨年度の総会出席者は44名だったが、6月13日現在で29名と出足が悪く、昨年並みの出席者には是非達成すべく支部役員は懸命の努力をしています。出欠連絡ハガキを未提出の方は是非出席でご返事ください。

また、下記の出席予定者名簿を参考に是非友人知人をお誘い合わせの上、昨年を上回る出席者になる様、皆様のご協力をお願いします。

編集子と致しましてはご購入者の支部会員の皆様のご出席いただければと願っております。

参加申込締切は6月24日(金)ですので皆様のご出席をお待ちしています。

- 6月13日現在の出席予定者は下記の通り(敬称略)
- 井上 信之(25米英) 大村 実良(33商) 鷹野 哲郎(33商)
 - 藤田 博保(35商) 河野 旺生(36商) 名越 英昭(37米英)
 - 山本 信司(37米英) 平間 正昭(37商) 村上 勝幸(37商)
 - 二宮慶治郎(38米英) 藤澤 一範(38中国) 後藤 公一(38商)
 - 赤松 初夫(40米英) 永翁 正臣(41商) 中村 明人(41商)
 - 出口 耕三(44米英) 浜田 勝義(44米英) 久芳 健二(44中国)
 - 安德 信義(44商) 山田 紬昭(44商) 松山 仁(44商)
 - 福永 憲彦(44経営) 高山 行雄(45米英) 大西 敏(46国文)
 - 森 護(47米英) 橋崎 栄子(50国文) 小園 豊(54経営)
 - 川寄 豊(55経営) 佐藤 研二(H18法律)

訃報

兵庫支部総会案内に対する返信はがきで大先輩2人の悲報が届いた。

浜本昭治氏 24年米英科卒

支部1号創設に故岡村和倫氏とともに尽力し、昭和26年9月29日神戸沖天閣に於いて関西支部を発足させた。昭和61年10月1日関西支部から独立して兵庫支部が発足した時は、初代兵庫支部長村山昌生氏を強力にバックアップ、自社(七友商事株)に事務局を置き、兵庫支部発展の礎を築かれた。

金山千治氏 24年米英科卒

平成3年4月開催の兵庫支部総会に出席され、岡村・浜本両氏と共に久々の一期生の邂逅として北友会会報に写真入りで掲載された。(右) 兵庫支部に直接関わられる事は無かったが、かつての三金会会場「フリージア」に来られた事もお二人のご冥福を心からお祈り致します。



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

支部運営協力金協賛者中間報告

27名、38,000円 (H23.06.13現在)

昨年に続き、今年も支部運営協力金をお願い致しましたところ、これまで19名の方からのご協賛をいただいております。皆様のご厚志を有効に活用させていただきます。今後ともよろしくご支援お願い申し上げます。ご協賛者ご芳名は下記の通り(順不同・敬称略)

- 真島 秀幸(48経営) 秋山 敏(H5経営) 緒方 信義(35商)
- 杉山 剛太(34商) 町田 実穂(53米英) 国広 敏文(46米英)
- 二宮慶治郎(38米英) 石田 匠(43米英) 中尾 清光(44経営)
- 松下 智博(H11英文) 川寄 豊(55経営) 江藤 幸嗣(50国文)
- 後藤 公一(38商) 奥本 進(39商) 野田 敏郎(37商)
- 川野 芳美(24米英) 八木 正博(57政治) 大神 正晴(48経営)
- 新海 正尚(36商) 今井 正人(57政治) 三宅 翔太(40商)
- 八木 謙悟(48経営) 上田 進(48経営) 前原 賢作(40商)
- 澤田 英憲(44経営) 都築 保(25米英) 上岡 聖(H21院)

九州六大学野球春季リーグ戦

北九大は準優勝、優勝は福岡大

九州六大学野球春季リーグ戦は、5月22日(日)に閉幕し、最終週で九国大を連破した福岡大が優勝し、全日本大学野球選手権出場を決めた。

北九大は九州大に1-0、4-0と連勝して準優勝した。リーグ戦では異例の前日泊で朝9時からの試合に臨んだのが良かったと、徳永監督。

最終成績は下記の通り。

- 1位 福岡大 8勝2敗
- 2位 北九大 6勝3敗1分
- 3位 九国大 6勝4敗
- 4位 西南大 4勝5敗1分
- 5位 九州大 4勝6敗
- 6位 久留米大 1勝9敗

兵庫支部月例会5月「三金会」

「三金会」が「三人会」になった

兵庫支部設立総会後の二次会で、当時の村山支部長が各支部の月例会を紹介し、兵庫支部でも支部会員の親睦・交流を図るため、毎月第三金曜日に集まろうと始まったのが「三金会」で、設立時の昭和61年10月から発足し休むことなく続けられたが、出席者が3人だけというのは、編集子も殆んど毎月出席しているが余り記憶の無い事だ。

親睦・交流、そして情報交換の場「三金会」に気楽にご出席お待ちしております。



「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費:3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～

参加費:無料、ドリンク/500円



熊野街道を歩く

— 第11回 —

和歌山電鉄伊太祁曾駅からJR海南駅へ

奈久智王子(32)→松坂王子(33)→松代王子(34)→
菩提房王子(35)→祓戸王子(36)→藤代王子(37)

5月31日(火)このシリーズ最後のコースに出かけた。H21.03.11藤代王子からスタートして中辺路経由で熊野本宮大社まで、そして大阪天満の八軒家浜からスタートして熊野街道(小栗街道)を南下して、今回で藤代王子(藤白神社)にゴールする。

JR和歌山駅で和歌山電鉄貴志川線に。前回の資料で「たま電車」運行時間をチェックし、予定通りたま電車に乗車。猫の凶案の前面に、猫の様々な姿態が描かれたボディシートも猫のプリント。まさに猫だらけ。当初は出発地の伊太祁曾駅で下車予定だったが、乗り越して「たま駅長」がいる終点貴志駅を訪ねる。駅舎は猫を模ったもの

構内には「たまグッズ」が一杯だ。たま駅長殿は待合室の壁際のガラス張りの円筒状の部屋に悠々と居眠り中だ。ホーム(猫を模った貴志駅舎)に「ねこ」「おもちゃ」「いちご」神社が祀られていた。

(たま駅長居眠り中) 予定外の寄り道で約40分のロス。伊太祁曾駅に戻り、熊野古道に入り、右手に水原弘の写真が目立つアース製菓の広告看板横の細い坂道を20mばかり上ると、こんもりと茂った大木の陰に、小さな祠がある。奈久智王子である。

定家は「奈くち」頼資は「菜口」と日記に書いており、所在地もここから約1.5km南という説もある由。15分ばかり南下し、阪和道をくぐって少し行くと武内神社が見えてきた。戦前に発行された紙幣にしばしば用いられた武内宿禰(タケウチノスネ)が産湯を使ったと言う井戸がある。大和朝廷の数代の天皇に仕える程の300歳以上の長命だった由。そういえば左の写真の人物は見た事があるような、名前も聞いたことがあるような。

県道9号線をどんどん南下し、新池・大池を右に見ながら進み、二又に分かれた道を左にとると直ぐ徳本上人名号碑(右)がある。近辺には何の説明がないが案内図にそう書いてあるのでそうなのだろう。

さらに進むと広い道路が工事中途中で途切れた所で、左に細い道があり、その奥にお地藏さんが見える。ネットで得た資料と同じだ。この奥の竹藪の中にあるのだろうと探してやっと見つけたのはもう一つの説の奈久智王子跡だ。



(たま電車)



(猫を模った貴志駅舎)



(奈久智王子跡の祠)



(徳本上人名号碑)

工事中途中で途切れた広い道と別れ、右折して農道に入り、県道9号線に戻り再び南下する。両側に田植準備で水が張られた水田地帯を通り抜け集落に入ると、右手に「四つ石地藏」がある。かつてあった三上院千光寺の礎石を集めて地藏尊を祀った由。お堂の両側に2個ずつ石が置かれていた。

更に南下し右折して三叉路の突き当たりに「松坂王子跡」があった。和歌山県特有の青色説明板ではないが、現在王子跡は且来(アツ)八幡神社に合祀されているとのこと。

暫く行くと緩やかな上り坂になって、くも池畔の徳本上人名号碑の前を過ぎて、左手にお堂がある所が汐見峠である。

安政2年(1855)の大地震の時大津波で逃げ場を失った人々が汐見峠のお地藏さんの不思議な力に呼び上げられ救われたと。それ以来「呼び上げ地藏」と信仰を集めている由。

峠を下り15分ばかりで春日神社へ左折の道標があり5分位で本殿に到着した。参拝の後参道をおりて行く途中で松代王子神社があった。

これが松代王子跡が合祀されたものと思っていたら、広い道に戻って次の目的地へと向っていると道路脇に「松代王子・春日神社境内」とある。また春日神社まで行くのかなといふかりながら坂道を上ると、やが

て細い山道になり松代王子跡がありました。春日山の西の麓にあったものをここに移したそう。

次に訪れたのは「菩提房王子跡」で建具店倉庫脇にちょこんと石碑がありこれが王子跡?といった感じだ。

この辺りから道は西南西へと向い、ゴールの藤白王子へ一直線である。

道筋「祓戸王子跡」への道標に従って横道に入ると今度は山道に入り約100m行けど、まだかまだかと思いながら山道を行き「祓戸神社々跡」と記した石碑が建っていた。ここが祓戸王子跡である。本宮大社手前にも祓戸王子があるように、熊野への入口

前で、垢離をとって心と体を清める場所だったという。同じ道筋に鈴木家発祥の地がある。かつては義経も度々訪れた鈴木屋敷であるが、いまはかなり荒廃してきている。

そして熊野一の鳥居、熊野三山の入口にやってきた。2年前ここから古道ウォークをスタートしたのだ。藤代王子は五体王子の一つとして栄え、熊野路で唯一現存する最古の造物像と言われる本地仏、熊野本宮の阿弥陀如来、熊野速玉の薬師如来、熊野那智の千手観音そして藤代若一王の十一観音を祀っているのが藤白王子権現である。JR海南駅に到着し今回のシリーズを終了した。お付き合い有難うございました。 編集子



(松坂王子跡)



(松代王子神社)



(松代王子跡)



(菩提房王子跡)



(祓戸王子跡)



(熊野三山入口の石碑)

「歩こう会」5月例会

京都一周トレイル東山コース後半

北白川→瓜生山→石鳥居→ケーブル比叡駅、約7km

「歩こう会」5月例会は、昨年12月例会で歩いた京都一周トレイル東山コース前半部分を歩き継ぐ形で実施した。5月8日(日)午前9時半JR京都駅に集合阪急利用組と河原町で合流して、バスで北白川別当町迄行き、そこで近くのコンビニで弁当とお茶を調達し



右前方に「大文字」を眺めながらトレイル標識東山54番の北白川仕伏町からコースに入る。本日の参加者は同窓生6名を含め総勢10名。

(大文字を右手に)



(北白川大山祇神社鳥居)

沢伝いの緩やかな上り坂を行くと、左手に鳥居が見えて来た。北白川大山祇神社である。先行組がどんどん行

っているの、手を合わせただけで通過。東山36峰の一つ瓜生山にあり、播磨から祇園に移る際一時ここに鎮座した牛頭天王が木瓜を好んだ事から瓜生山と呼ばれた由。

暫く進むと立札があり、清沢口中間作業石置き場とある。この瓜生山一帯は白川石の採石場となっており、沢伝いに石を運び出し休息した場所と推定されている。5分位で「白幽子」巖居跡に到着した。

夜船閑話発祥之地である。臨濟禅中興の祖白隠禅師(1687-1768)が白幽子によって肺病を治癒したという体験の名著が夜船閑話である。



(白幽子巖居した穴を覗く一行)

白隠に内観の法、長生の秘訣を全て伝授し白隠は起死回生し84歳まで長生したという。仙人の霊気にちょっぴり触れて元気になって瓜生山頂上を目指す。途中白川石の産地である清沢口石切場を通る。結晶粒子が大きく美しい白川石は



(瓜生山頂の広場とお堂)

礎石や敷石、燈籠、庭石さらに石仏、石鳥居等などに利用され、白川の人々は代々石工になったとのこと。やがて標高301mの瓜生山頂に到着。北白川城本丸跡で室町時代には再々城郭が築かれ足利將軍家、細川管領、三好長慶、松永久秀らが攻防を繰り返した。近江の戦国大名六角定頼が勝軍地蔵が安置されたが、山路険阻を案じて移され、現在は石室のみが残っている。昼食には少し早いと先へ進む事にしたが、標識59-5番(写真右)で右折する所を先行組は直進したらしく後続組が61番を過ぎた頃迷ったらしいと電話があった。



先行組が引き返して追いついてくるのを待ちながらゆっくりと進む。62番を過ぎた辺りで眺望が開けた。多分宝が池公園などがある東山一帯だろうと推察する。



63番を過ぎた辺りで追いついてきた。再び前に行かせ、65番辺りのちょっとした広場では別のグループ(宝が池公園のある東山辺りか?)が食事をしていて。12時半を回っていたが昼食場所はもっと先だと。それから20分以上歩くと石鳥居が見えて来た。そこで昼食をとっていると、爆音を響かせてバイクの一行が山道を駆け上がっていった。

(石鳥居の広場で昼食)

下り坂を下りて澤を渡り少しなだらかになったところに「水飲対陣之跡」と記された石柱がある。後醍醐天皇に仕え後に足利直義とこの水(女性ライダーが)飲で戦った千種忠顕郷が戦死した場所という。ここから約1キロ進んだ場所73-1番付近には千種忠顕郷戦死之地と記された石碑が建っている。

(水飲対陣之地石碑)

暫くここで休息し右へ行けば新道、直進は旧道という事だが旧道の方が近そうなのでそちらへと進む。程なくケーブルの駅舎が見え、その横を通り抜けて上がると東山コース最後の74番だ。



(ビールも販売しています)

駅前広場には売店があり、ビール等を販売しており30分ばかりウォーキングの疲れを癒す。どこかで見かけたような「かわらけ投げ」もありお賽銭100円で3枚の素焼きの丸いお皿(厄除けかわらけ)に願い事を書いて谷に吊り下げられた“輪”を目がけて投げるのだと。



(輪に願いを込めて)

叡山ケーブルで麓の八瀬駅まで下りて、参加者全員の記念撮影の後、叡山電鉄で出町柳駅まで向う人、バスで河原町へ向う人、それぞれに分かれて帰路に就く。



(後列左から伊藤、角田、名越、松山夫人、松山(前列左から大下、二宮、浜田、山浦夫人、山浦)